

安実 隆直 ANJITSU TAKANAO

今日も

県政報告誌

大安
吉実
たいあん きちじつ

大きな安心と安全な暮らしをきっちり実現します

vol.12

令和5年2月発行



PROFILE プロフィール

〔あんじつ・たかなお〕

1964年8月18日白山市矢頃島町生まれ。松南小学校、松任中学校、石川県立松任高校、石川県立農業短期大学卒業。手取川七ヶ用水土地改良区勤務を経て、2013年2月白山市議会議員初当選～2期。19年4月石川県議会議員初当選。

《所属会派》自由民主党石川県議会議員協議会

《所属委員会》商工観光公安委員会（副委員長）、災害・県土強靱化対策特別委員会



スマホでも活動報告をぜひご覧ください

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症やウクライナ侵攻などの影響が続く中、物価や電気代の高騰、円安など暮らしや経済活動においても、何かと不安なことが多い2023年のスタートとなりました。

県内では、低温による水道管の凍結や破損の影響で1万1千世帯を超える方が生活の不便を余儀なくされました。原因となった空き家の水道管の漏水は、5年前にも能登で発生した大規模断水と同じで、改めて過疎地域でインフラ整備をどう維持していくのか、地域が抱える構造的課題の解決に向けたスピーディーな取り組みの大切さを実感させられました。

早いもので石川県議会議員となり、まもなく4年になります。これまでの皆様のご指導に感謝し、地域の皆様が安心を実感できるまちの実現に向けてより一層努力してまいります。

石川県議会議員 安実隆直

委員会質疑

2022
11/7

災害・県土強靱化対策特別委員会

Q1.8月の大雨の農林水産の被害額は、70億円と大規模なものになった。個人や法人も含めて、機械が壊れたり、営農が困難な状況になったりしているケースが多いが、県として対応はどのようにするのか。

A.被災農家の状況を鑑みて、県独自の支援策を講じることとした。具体的には、野菜の生育回復の追肥など営農再開に必要な費用の助成や被災した農業機械の再取得に必要な費用の助成などを行い、ソフトとハードの両面ですっかり後押ししていく。



Q2.白山白川郷ホワイトロードは、11月に仮設道路が完成したが、今後の完全復旧はいつごろになるのか。

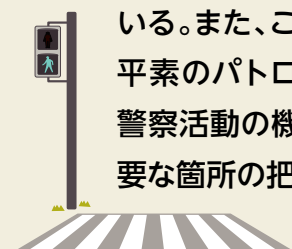
A.一日も早い道路の再開を目指しているものの、崩壊が大規模だったので、本復旧の工事の具体的な工法や工程は現在検討中。
【2023年予定】GW直前の片側交互通行を目指す。11月頃両側通行予定。

2022
9/26

商工観光公安委員会

Q.補修が必要な横断歩道の定点調査の具体的な内容を教えてほしい。

A.年2回、各警察署で交通量の多い路線や事故の発生が多い路線、通学路等を重点的に管内の横断歩道等の実態調査を行い、その結果を踏まえて補修している。また、これ以外にも警察官の平素のパトロールや現場臨場等、警察活動の機会を通じて補修が必要な箇所の把握に努めている。



2022
9/21

県議会予算委員会 質疑

県議会・録画中継を
ご覧いただけます



県議会・会議録も
ご覧ください
発言者検索で「安実」と
入力してください



県農政について

Q1. 農業者の事業継続や地域農業の維持を図るためにも、さまざまなリスクに備えた収入保険の意義が高まってきている。加入率(現在21.2%)を上げるには、県が国庫補助に上乘せし、収入保険の加入促進を図るべきではないか。

A. 県では農業共済組合などと連携し、農業者に収入保険のメリット等を丁寧に説明しながら加入促進に取り組んでいる。支援については、今後、国の方針を十分に見守りながら対応したい。

【2023年予定】令和5年度当初予算で時限的に県独自の財政支援を実施する。

Q2. 肥料など生産資材が高騰する中、米価の低迷が続いている。ある試算では茶わん1杯の米の値段が約25円で、食パン一切れよりも安いとされている。生産者の経営継続に向け、米の価格転嫁が重要だと思うが、県はどう考えているのか。

A. 米を含めて農産物の価格は、基本的に需要と供給のバランスで決まるもの。県では県産米の需要拡大が重要と捉え、JAと連携し、県内外で県産米の消費拡大キャンペーンを実施している。一方で、国の進める価格転嫁に向けた環境整備の動向も注視していく。



県営手取公園美し河原園地の災害復旧について

Q. 8月の大雨で、少年サッカーでも利用されていた多目的広場などが被害を受けたが、災害復旧のスケジュールはどうなっているのか。また、再発を踏まえて、対策工事はどのように進めるのか。

A. 河川管理者の国と調整し、災害査定に必要な測量設計を進めている。査定完了後、令和5年の出水期までの復旧完了に向けて速やかに工事に着手する。再発防止に向けて、園地の下流端部に籠マット(鉄筋枠内に大きな砂利を詰めたもの)を設置する。



【2023年予定】現在、復旧造成工事を進めており、3月から芝生張りを始め5月末に完成し、養生期間を経て6月以降に供用開始予定。

横断歩道の安全対策について

Q. 信号機のない横断歩道で歩行者横断時における車の一時停止状況の調査では、石川県は全国5位(50.7%)だが、まだ半数の車は歩行者がいても止まらない危険な状況である。限られた予算内で信号機の設置も厳しい中、白山市ではLEDを利用した横断者注意喚起灯を試験的に導入したが、県も設置を推進していくべきではないか。

A. 横断者注意喚起灯は、全国の十数の市や町で設置事例があると把握している。まだ設置数が少なく、当面は全国の導入状況や設置効果等を検証していく。



皆様の声をお聞かせください



安実隆直事務所

〒924-0865 白山市倉光五丁目 106-1 グレイス K1F
TEL & FAX.076-205-8299 E-mail takanao@anjitsu.jp
<https://anjitsu.jp>

あんじつ

検索



最新情報は
公式facebookで配信中

